

不動産・インフラ投資市場活性化方策に関する有識者会議 とりまとめ骨子(案)

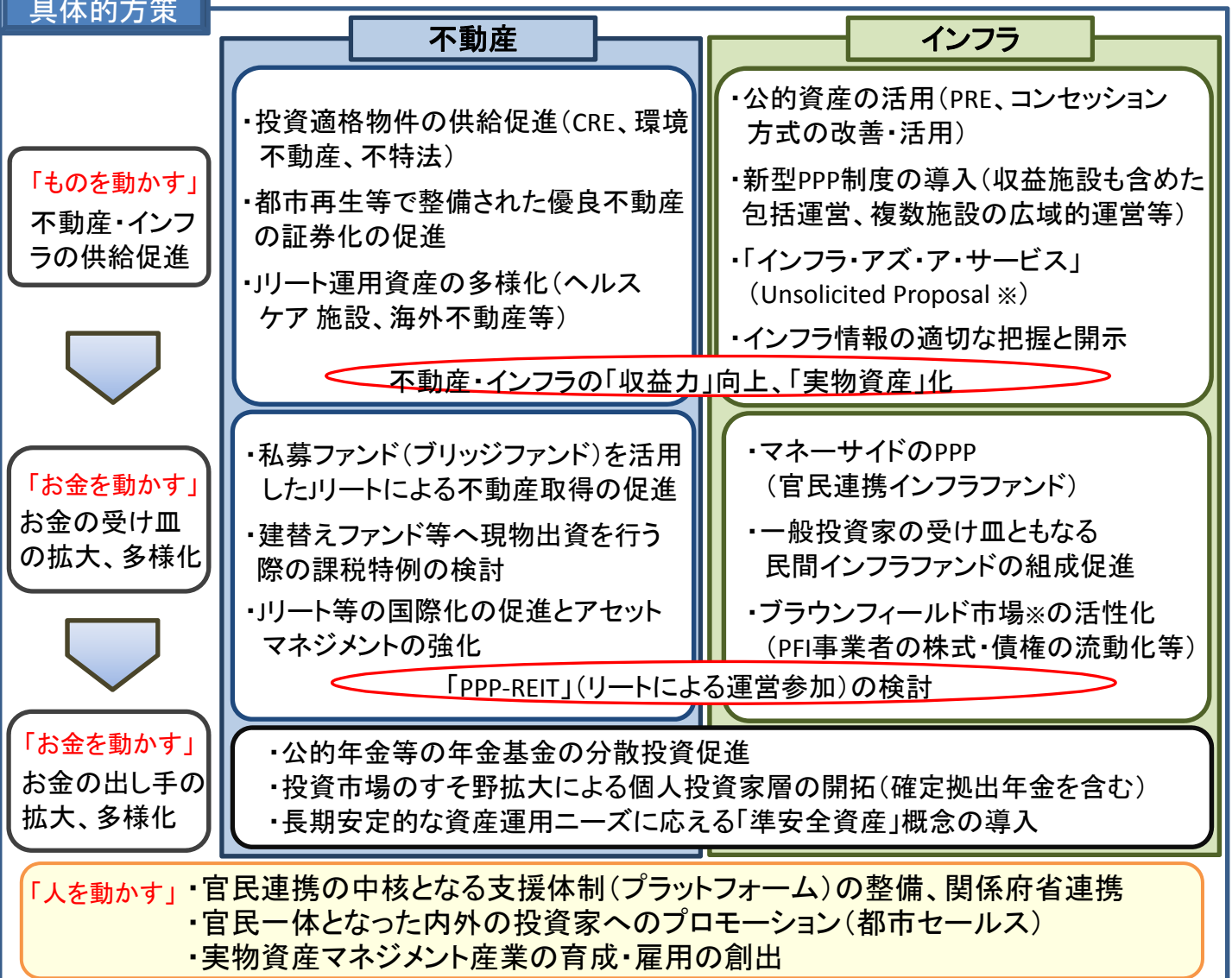
H24.12.3

成熟型社会における不動産とインフラを活用した日本再生の道筋

- 成熟型社会では、ハードの更新・改修ばかりでなく既存ストックの経営効率化を含めた「不動産・インフラのバリューアップ」(実質的価値の増大)が必要
- REIT市場(9兆円)、PFI市場(4.7兆円)は、不動産・インフラの市場規模と比較して低水準
- 民間の資金、経営能力等を活用して、「不動産・インフラのバリューアップ」を図り、都市や地域の魅力を高めて成長を呼ぶ分野への投資を促進させ、資金の好循環、「成長の自律的サイクル」を実現

- ・「ものを動かす」(不動産・インフラのバリューアップ)、「お金を動かす」(個人投資家・機関投資家の投資活動)、「人を動かす」: FIRE産業(金融、保険、不動産)等への波及
- ・不動産とインフラが相互に**共通目標**を持ち、**乗り入れ**を行うよう**一体的に運営**

具体的方策



不動産・インフラ投資市場活性化の効果

- ・不動産・インフラに向けられた資金の上流から下流までの好循環が経済成長の原動力となり、デフレ脱却に寄与。東京の国際金融センターとしての整備に貢献

(※)ブラウンフィールド市場・・・建設が終了し、既に稼働しているインフラ事業の市場
Unsolicited Proposal・・・公共側からの要請なしに、民間側から自由に持ち込まれてくる提案